

ループス腎炎における Activity index および Chronicity index と腎予後との関連に関する後ろ向き観察研究
に関する臨床データの研究利用についてのお願い

【研究の概要・背景】

ループス腎炎（lupus nephritis: LN）は、全身性エリテマトーデス（systemic lupus erythematosus: SLE）の主要な臓器病変の一つであり、慢性腎臓病や末期腎不全の重要な原因です。LN では、腎生検病理における Activity index（AI）および Chronicity index（CI）が病態評価に用いられていますが、これら病理学的指標と腎予後との関連については十分に明らかではありません。

本研究では、当院で腎生検により診断されたループス腎炎症例を対象として、診療情報および病理所見を用い、AI および CI と腎機能や尿蛋白などの臨床指標との関連について検討します。

【試料・情報の利用目的・方法】

本研究では、通常診療の過程で取得された診療情報および既存の病理所見を用いて解析を行います。収集する情報には、年齢、性別、血液検査、尿検査、治療内容、腎生検病理所見などが含まれます。研究は長岡赤十字病院において実施され、取得した情報は研究用 ID を付与したうえで管理し、氏名や患者 ID など個人を特定できる情報は研究には使用しません。研究成果は学会および学術論文として公表する予定ですが、個人を特定できる情報が公表されることはありません。

【対象者・期間】

対象者：2006 年から 2026 年までに長岡赤十字病院で腎生検を施行され、ループス腎炎と診断された方

研究期間：倫理委員会承認日から 2027 年 12 月 31 日まで

【データ利用のお願いと申し出について】

本研究は、通常診療で得られた既存情報を用いて実施する後ろ向き観察研究であり、患者さんに新たな負担や不利益はありません。

本研究への情報利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。研究不参加を申し出られた場合でも、今後の診療等において不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院
担当医師：須藤真則

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1
電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)